基本構想の作成事例

宮内串戸・阿品・宮島口駅周辺地区バリアフリー基本構想（廿日市市）

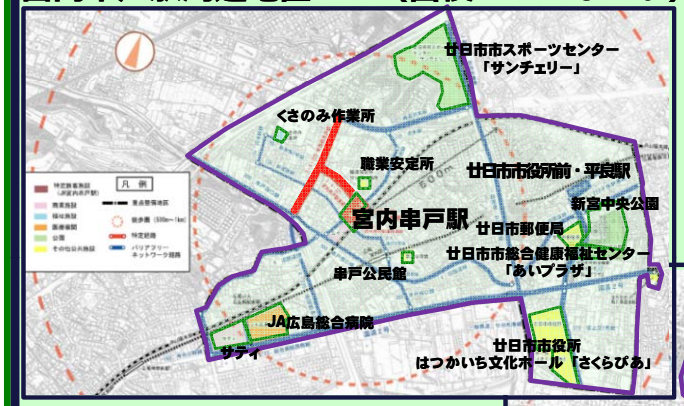
国土交通省

概要　　（受理日　平成１６年６月２２日（宮内串戸・阿品）　平成２１年８月３日（宮島口））

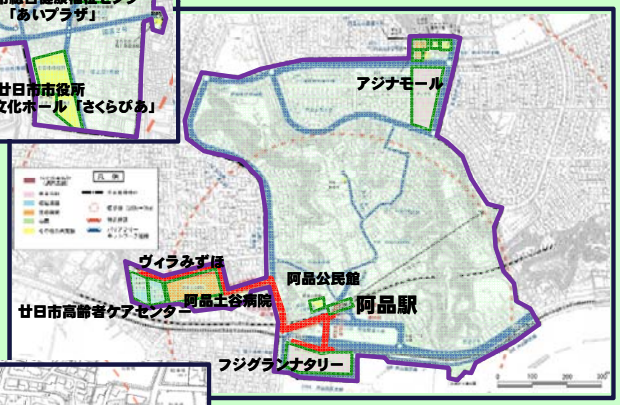
宮内串戸、阿品駅周辺地区においては、交通バリアフリー法に基づき基本構想を作成し、都市計画マスタープラン、障害者福祉計画、福祉のまちづくり条例等の各種計画と連携・整合を図りながら整備を進めている。宮島口地区については、宮島町や大野町との合併やバリアフリー法が施行されたことを受け、先行する２地区におけるノウハウや反省点を活かしつつ整備を進めている。また、世界遺産である「厳島」を抱える自治体として、バリアフリーと同時に景観にも配慮したまちづくり行っている。

重点整備地区

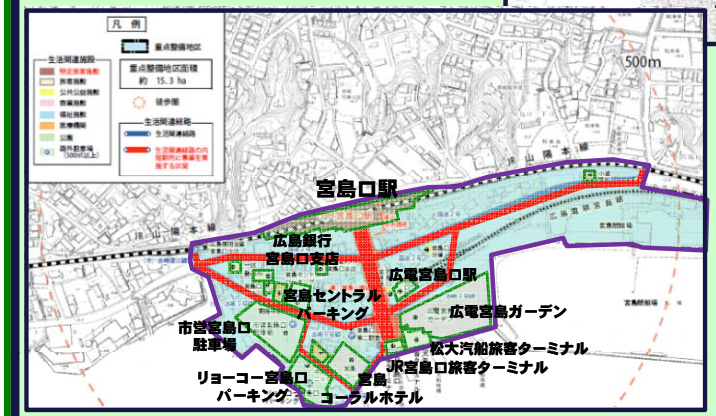
宮内串戸駅周辺地区　（面積　１１０ｈａ）



阿品駅周辺地区（面積　７５ｈａ）



宮島口駅周辺地区（面積　１５ｈａ）



凡例

重点整備地区　　生活関連施設　　生活関連経路

特定事業

公共交通特定事業

ホーム間を結ぶエレベーター及び跨線橋の設置。手すりの２段化及び水平部の延長。音声情報案内装置の設置。改修時において可能な限り既存車両のバリアフリー化に努める。内方線付きの視覚障害者誘導用ブロックの設置。職員教育・訓練の実施。トイレの改良。

道路特定事業

車両出入口や歩道切下げ方法の改善。視覚障害者誘導用ブロック（特に輝度比）の改善。階段手すりの２段化及び水平部の延長。階段段鼻の識別性の確保。水はけの良い舗装への改善。照明施設の改善。放置自転車・自販機・植栽・看板等の撤去・移設。違法駐車行為防止のための啓発。排水施設の整備・側溝蓋の改善。

交通安全特定事業

視覚障害者用信号機の改良。道路標識・表示の高度化・高輝度化。

その他事業

駅前広場の上屋の連続的設置。歩車道等の高低差解消。公衆トイレ・休憩スペース等の設置。身体障害者用を含む一般乗用車・バス・タクシー等の各種乗降場の整備。

当事者の意見の反映方法

廿日市市内に在住の65歳以上の男女2,000人及び障害者団体を通じ、500人の身体障害者を対象にアンケートを実施し、駅の利便性、施設の利便性や不安等を中心に意見を収集した。

老人クラブ所属の方、身体障害者を対象に意見交換会を開催し、よく利用する駅や施設とそこまでのルートをピックアップし、重点的に整備する地区の洗い出しを行った。

高齢者、障害者の方をはじめ市民を対象にタウンウォッチングを実施した。

基本構想の推進体制

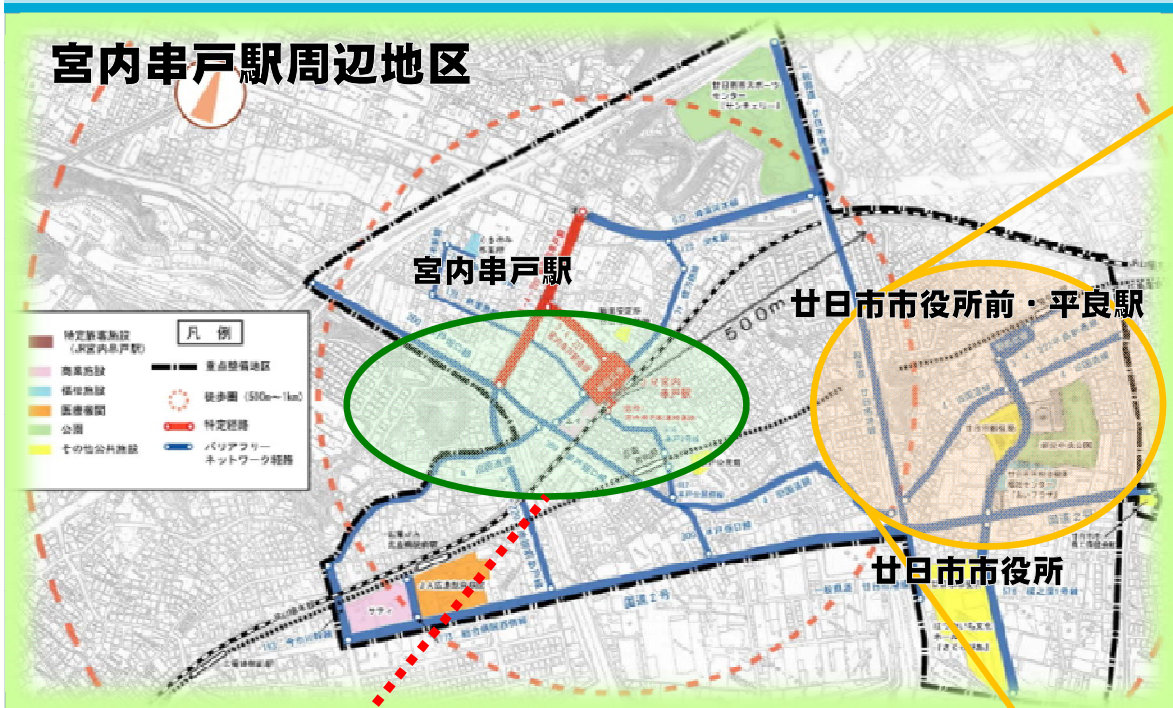
協議会

学識経験者･･･広島工業大学教授、日本赤十字広島看護大学教授
市民・当事者団体･･･小中学校長会、町内会連合会、商工会議所、医師会、老人クラブ連合会、障害者団体連絡会、社会福祉協議会、ボランティアサークル
事業者･･･ＪＲ西日本、広島電鉄

基本構想の作成事例

宮内串戸駅周辺地区（廿日市市）

国土交通省



基本構想に合わせ、重点整備地区内の廿日市市役所前・平良駅から廿日市市役所一体の地域を整備。

駅とバス停のシームレス化、多機能のトイレの設置、ICTによる歩行者誘導が可能な施設の整備、光る点字ブロックの設置。

公共交通特定事業・その他事業（駅前広場）

▼点字案内板の設置、エレベーターの設置及び視覚障害者誘導ブロックの設置・改善

▲駅自由通路の整備

▼駅前広場の障害者用スペース

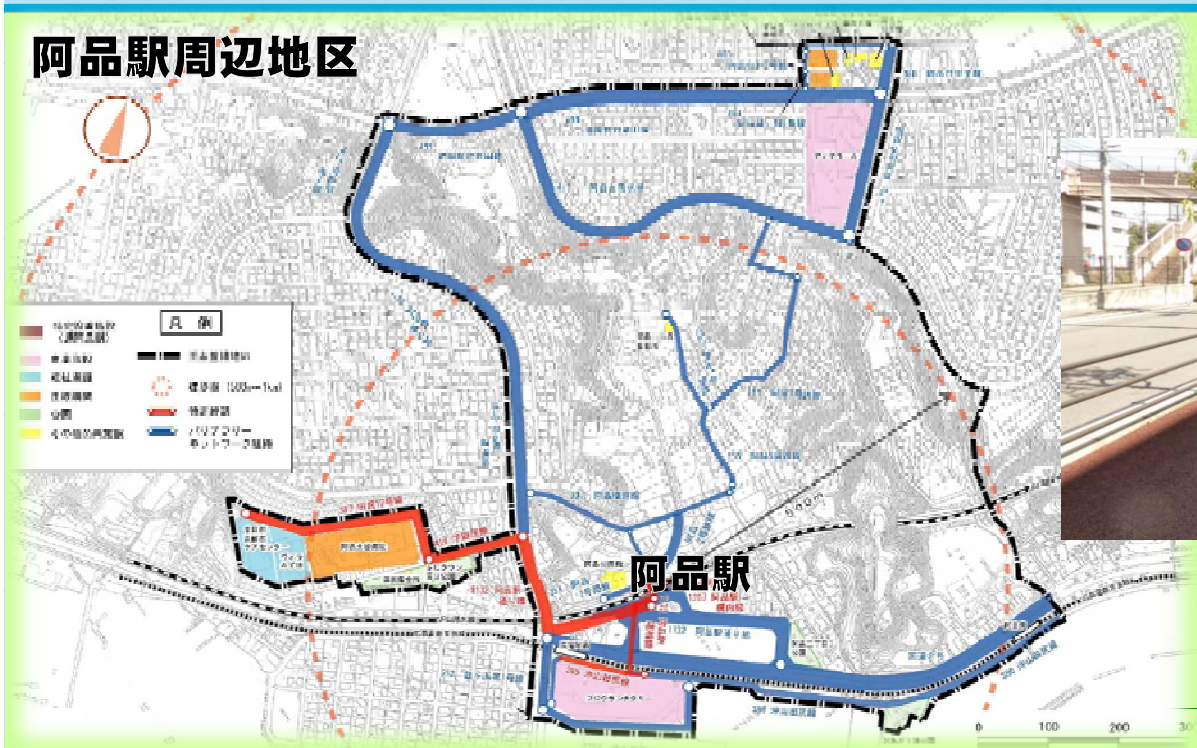
視覚障害者誘導用ブロックの設置。▶

基本構想の作成事例

阿品駅周辺地区（廿日市市）

国土交通省

阿品駅周辺地区



道路特定事業

透水性舗装を施した歩道▼

▼勾配のある道路に
滑り止めの舗装を実施。

▼一体化したバス停と電車ホーム

公共交通特定事業・その他事業（駅前広場）

▼エレベーター設置

▼多機能トイレの整備

▼市民の要望により
駅前広場の屋根を増設。

▼連絡通路と民間建築物の一体的な整備により、
円滑な移動を可能に。

基本構想の作成事例

宮島口駅周辺地区（廿日市市）

国土交通省

おもてなし空間としての充実
「厳島」への玄関口として、地区周辺の住民や、観光客誰もがスムーズに、快適に移動できると同時に「廿日市市景観計画」に基づく秩序と風格ある玄関口としての景観形成に努めている。

厳島へのスムーズな快適なルートの形成

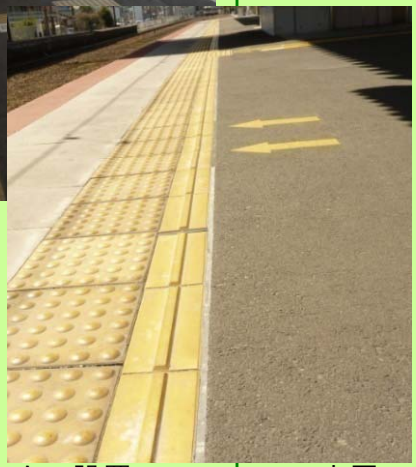
道路特定事業

地下道へのエレベーターの設置▲

公共交通特定事業

▲駅正面にスロープの設置

◀ ▲エレベーターの新設



内方線付き点字ブロックの設置▲

上屋のあるバス停の整備▲

港まで続く　▲
視覚障害者
誘導用ブロック▼